

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名【新】薬草の里づくりプロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111 (内4119)

E-mail： c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	10,000	1,950	0	0	0	0	0	0	8,050

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・岐阜県には、多様性に富む植物が分布する伊吹山があり、多くの種類の薬草が自生している。また、薬草とそれを利用してきた薬草文化は、伊吹山の豊富な薬草とともに本県の貴重な財産である。

・伊吹山麓にある春日を中心とした揖斐地域では、平成2年に町が中心となり、伊吹山薬草サミットを始め、毎年、伊吹山山麓の市町村の持ち回りで、平成25年まで開催された。それに伴い、薬草文化が活発化し、薬草文化の普及に大きな貢献を果たした。

・その後、10年が経過し、薬草を栽培、活用する人々の高齢化が進み、薬草に対する地域の意欲も減退してきていることから、薬草の活用方法や料理法などに携わる薬草文化の伝承が危ぶまれている。

(2) 事業内容

薬草等を活用した中山間地域の振興を図るため、地域資源の豊富な揖斐川地域にて、薬草の里プロジェクトを展開する。

- ・プロジェクトチームの設置
- ・薬草フォーラムの開催
- ・薬草メニューフェアの開催
- ・薬草の魅力めぐりツアーの実施
- ・薬草新商品の大都市圏への発信

(3) 県負担・補助率の考え方

「ぎふ農業・農村基本計画」にも位置づけた「地域資源を活かした農村づくり」において県が負担し推進することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	295	・プロジェクト事業推進に係る報償費
旅費	176	・プロジェクト事業推進に係る業務旅費
需用費	228	・プロジェクト事業推進に係る消耗品費
役員費	50	・プロジェクト事業推進に係る通信運搬費
委託料	8,500	・プロジェクト活動の実施に係る経費
使用料及び賃借料	751	・プロジェクト活動の実施に係る経費
合計	10,000	

決定額の考え方

財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「ぎふ農業・農村基本計画」
1 - (4) 地域資源を活かした農村づくり

(2) 国、他県の状況

無

(3) 後年の財政負担

葉草等の地域資源を活用し、地域の活性化につなげる事業であるため、複数年（2年）の取組みが必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

複数の市町を含むため、岐阜県が実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 地域が一体となったフェアやフォーラムを開催することで、薬草と地域の魅力を内外に発信し、地域の活性化につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 薬草メニュー の提供店舗数	2			5	5	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	中山間地域では、高齢化が進み、薬草などその地域資源を活かした地域の活性化がますます求められている。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域で取り組む担い手を確保することが重要である。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域資源を活かした中山間地域の活性化は、継続して取り組むことが必要である。
--